

# 自立活動だより

紀北支援学校自立活動部  
令和元年11月発行その1

10月の自立活動だよりは、中学部の取り組みについて紹介します。

今年度の中学部は、知的障害学級（以下1ブロック）に45名、肢体不自由学級（以下2ブロック）に11名（訪問生3名含む）の生徒が在籍しています。（令和元年10月1日現在）

中学部の自立活動の時間における指導の授業形態は、実態や目標に応じて週1～5時間設定をしています。活動内容も様々で、個別指導もあれば必要に応じて集団指導で行っている場合もあります。

今回は、1ブロックと2ブロックの自立活動（時間における指導）の一部を紹介します。



## 【1ブロックの取り組み】

ねらい：『環境の把握』 ①保有する感覚の活用に関すること。  
『身体の動き』 ③日常生活に必要な基本的動作に関すること。  
⑤作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること。

今年度から補助箸を使用して給食を食べるようにしています。食べることには意欲的でおかずなどは介助すると、補助箸で挟み、口元に運んで食べることができるようになりつつあります。しかし課題として、『注視できる力』『補助箸を開く力』『力強く握って掴む力』の向上があります。これらの力を更に向上できるよう自立活動に取り組んでいます。①紙コップでカスタネットを隠す様子を注視し、カスタネットが入っている紙コップを選択する。②色付輪っかをよく見てつまみ、所定の穴に入れる。③補助箸を使用し、底の色を変えた皿にマシュマロを右から左へ移動させる。④補助箸を使用し、お箸を使ってお菓子を自分の力だけで食べる。この4つの活動を繰り返し取り組むことで少しずつですが給食時、補助箸を使って食べることができるようになってきました。本生徒が補助箸を使って、主体的に食べることができることを目標にして取り組んでいます。

### 使用教材

①紙コップとカスタネット



### 使用教材

②輪っかと穴入れ



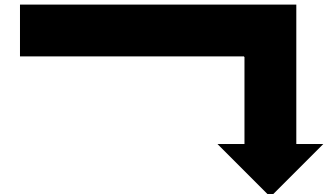
### 使用教材

③皿と補助箸



### 使用教材

ボールの中がキラキラと光り、音楽が流れることでボールへ興味を持ってもらおうとしています。



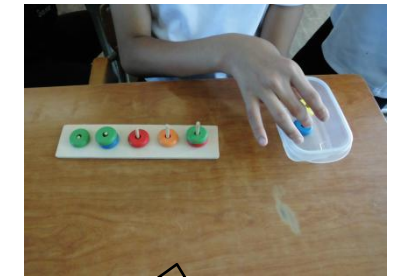
音と光に関心を持ち  
見る力がついてきました。



自分からお箸を握るようになってきました。



輪っかの穴をしっかりと見て入れています。



## 【2ブロックの取り組み】

ねらい：『コミュニケーション』 ①コミュニケーションの基礎的能力に関すること。  
④コミュニケーション手段の選択と活用に関すること。

自立活動では身体へのアプローチだけでなく、環境の把握のアプローチからコミュニケーション力を高めることも併せて行っています。A君は視線で意思表示や考えを伝えることを目標にして、小学部から中学部でも引き続いて『見る』取り組みを行っています。目の前に提示した対象物の注視や動いた対象物の追視を行うことで、視野に入った対象物に気づく力は練習により確実に向上してきました。6月の盲学校相談の際に盲学校の先生から「今までの検査で一番『見る』ことができていた。」と評価してもらいました。

これからも『自ら意識を集中して見る』力を高めていき、さらに写真や絵カード等の選択肢や支援機器を用いることによって、より確実に視線で意思表示ができることを目指していきたいと思っています。